



平成23年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 自重堂

コード番号 3597 URL <http://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原 正貴

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部本部長

(氏名) 谷口 郁志

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第3四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第3四半期	11,504	△2.3	891	△17.1	700	△58.2	339	△65.8
22年6月期第3四半期	11,775	△12.2	1,075	△1.3	1,675	209.1	990	590.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第3四半期	21.10	—
22年6月期第3四半期	59.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
23年6月期第3四半期	30,615		22,273		72.8	1,445.43	
22年6月期	30,258		23,145		76.5	1,398.11	

(参考) 自己資本 23年6月期第3四半期 22,273百万円 22年6月期 23,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
23年6月期	—	0.00	—		
23年6月期(予想)				35.00	35.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△0.3	1,500	△18.4	1,100	△45.6	600	△33.7	37.31

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年6月期3Q 17,653,506株 22年6月期 17,653,506株

② 期末自己株式数 23年6月期3Q 2,243,674株 22年6月期 1,098,860株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年6月期3Q 16,082,045株 22年6月期3Q 16,557,885株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
詳細は、【添付資料】P.3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高の進行と継続的なデフレにより、企業収益は低下し、雇用環境、個人消費においても引き続き厳しい状況が続いています。

このような状況のもと当社グループは、市況の逆風に立ち向かうべく、「働く人を応援します！」をメインテーマに掲げ、モノづくりからプロモーションに至るまでリアルを追求し、様々な仕掛けを発信することにより、愚直にモノづくりに取り組む「自重堂のワークウェア。」をキーワードに企業イメージの認知拡大を図っております。

基幹ブランドの「Jichodo」（ジチョウドウ）では、幅広いターゲット層に向けた企業イメージの構築を目的として、「俺の仕事着。」をコンセプトに、働く姿の誇りをリアルに表現したイメージビジュアルを制作し、次世代ブランドの「Jawin」（ジャウイン）では、若年層をメインターゲットに、「本気な分だけ、強くなる。」をコンセプトに、本気で戦い続けるカリスマ戦士の総合格闘家「桜庭和志」（さくらばかずし）選手、キックボクシング界で若手のホープとして期待を集める「城戸康裕」（きどやすひろ）選手をメインキャラクターに起用し、総勢17名の現役格闘家を起用したイメージビジュアルを制作し、プロモーション活動を強化いたしました。

生産面においては、主要生産国である中国における人件費の上昇、原材料価格の高騰に伴うコストアップや、慢性的な人員不足に伴う生産能力の低下に対応するため、生産体制の見直しを進め、新規協力工場の開拓を強化するなど、製造コストの低減と品質管理体制の強化に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は11,504百万円（前年同期比2.3%減）となりました。利益面においては、前述のプロモーション関係費用を経費計上したことなどにより販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は891百万円（前年同期比17.1%減）となりました。経常利益は700百万円（前年同期比58.2%減）、四半期純利益は339百万円（前年同期比65.8%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ357百万円増加し、30,615百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ278百万円増加し、18,770百万円となりました。これは主に、商品及び製品が1,470百万円、原材料及び貯蔵品が509百万円、未収還付法人税等が163百万円、流動資産その他が165百万円増加したことと、現金及び預金が371百万円、受取手形及び売掛金が1,616百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、11,844百万円となりました。これは主に、投資有価証券が456百万円増加したことと、建物及び構築物が129百万円、繰延税金資産が175百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,154百万円増加し、5,877百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,809百万円増加したことと、未払法人税等が531百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ74百万円増加し、2,464百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ871百万円減少し、22,273百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が259百万円増加したことと、利益剰余金が240百万円、自己株式の取得により950百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度より471百万円減少し、8,799百万円（前連結会計年度比5.1%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,558百万円（前年同期は1,969百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益573百万円、減価償却費145百万円、投資有価証券評価損120百万円、デリバティブ評価損107百万円、売上債権の減少1,616百万円、仕入債務の増加1,809百万円等による増加と、たな卸資産の増加1,996百万円、法人税等の支払額864百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は220百万円（前年同期は600百万円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出310百万円等による減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,531百万円（前年同期は584百万円の使用）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出950百万円、配当金の支払額578百万円等による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、円高の進行や政府の景気対策の一巡、及び平成23年3月11日に発生した東日本大震災による影響が懸念され、景気の先行きについては予断を許さない状況で推移しておりますが、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を踏まえ、平成22年11月11日発表の、平成23年6月期通期の業績予想に変更はありません。

なお、東日本大震災の業績への影響は軽微と思われませんが、当期の業績に重大な影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,921,239	9,292,506
受取手形及び売掛金	3,719,900	5,336,529
有価証券	186,358	151,737
商品及び製品	4,588,729	3,118,717
仕掛品	55,438	39,065
原材料及び貯蔵品	647,910	138,138
未取還付法人税等	163,499	—
繰延税金資産	87,843	172,002
その他	420,177	254,878
貸倒引当金	△20,198	△10,749
流動資産合計	18,770,898	18,492,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,484,649	2,614,032
土地	3,886,297	3,891,232
その他（純額）	180,874	169,706
有形固定資産合計	6,551,821	6,674,971
無形固定資産	29,207	25,937
投資その他の資産		
投資有価証券	4,540,874	4,083,970
繰延税金資産	181,701	357,216
その他	676,038	707,623
貸倒引当金	△134,730	△83,845
投資その他の資産合計	5,263,884	5,064,965
固定資産合計	11,844,913	11,765,873
資産合計	30,615,811	30,258,700

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,272,466	3,463,025
未払金	292,238	262,720
未払法人税等	53	531,651
返品調整引当金	42,955	60,226
賞与引当金	100,954	177,848
その他	168,652	227,832
流動負債合計	5,877,319	4,723,304
固定負債		
退職給付引当金	335,825	350,413
その他	2,128,867	2,039,711
固定負債合計	2,464,692	2,390,124
負債合計	8,342,011	7,113,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,562	1,827,562
利益剰余金	19,126,342	19,366,457
自己株式	△1,898,648	△948,385
株主資本合計	22,037,756	23,228,135
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	181,506	△78,116
繰延ヘッジ損益	54,536	△4,747
評価・換算差額等合計	236,043	△82,863
純資産合計	22,273,799	23,145,271
負債純資産合計	30,615,811	30,258,700

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
売上高	11,775,385	11,504,628
売上原価	8,230,693	7,966,361
売上総利益	3,544,692	3,538,267
販売費及び一般管理費	2,469,177	2,646,393
営業利益	1,075,514	891,874
営業外収益		
受取利息及び配当金	50,757	66,089
受取賃貸料	95,307	69,004
デリバティブ評価益	488,036	—
その他	100,506	103,465
営業外収益合計	734,607	238,559
営業外費用		
賃貸収入原価	38,636	36,986
為替差損	94,608	277,570
デリバティブ評価損	—	107,097
その他	1,200	7,834
営業外費用合計	134,445	429,489
経常利益	1,675,677	700,944
特別利益		
固定資産売却益	—	5,664
貸倒引当金戻入額	3,377	—
特別利益合計	3,377	5,664
特別損失		
投資有価証券評価損	11,410	120,136
固定資産除売却損	3,429	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,210
その他	—	500
特別損失合計	14,839	132,847
税金等調整前四半期純利益	1,664,215	573,762
法人税、住民税及び事業税	590,926	161,247
法人税等調整額	82,483	73,217
法人税等合計	673,410	234,464
少数株主損益調整前四半期純利益	—	339,297
四半期純利益	990,805	339,297

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,664,215	573,762
減価償却費	153,855	145,658
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,813	60,334
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△83,847	△76,894
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△17,479	△17,270
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,302	△14,588
受取利息及び受取配当金	△50,757	△66,089
投資有価証券評価損益 (△は益)	11,410	120,136
デリバティブ評価損益 (△は益)	△488,036	107,097
売上債権の増減額 (△は増加)	1,792,701	1,616,629
たな卸資産の増減額 (△は増加)	610,452	△1,996,156
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,389,325	1,809,440
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,210
その他	△56,309	81,681
小計	2,136,763	2,355,951
利息及び配当金の受取額	46,132	66,816
法人税等の支払額	△212,979	△864,672
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,969,917	1,558,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△212,480	△12,480
定期預金の払戻による収入	12,480	12,480
有価証券の償還による収入	12,994	69,733
有形固定資産の取得による支出	△7,680	△14,870
有形固定資産の売却による収入	4,620	14,310
無形固定資産の取得による支出	△3,438	△7,500
投資有価証券の取得による支出	△623,190	△310,305
投資有価証券の売却による収入	119,446	—
投資有価証券の償還による収入	106,629	47,895
保険積立金の解約による収入	5,478	—
その他	△15,279	△19,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600,419	△220,597
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△3,230	△950,263
配当金の支払額	△581,081	△578,578
リース債務の返済による支出	—	△2,352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△584,312	△1,531,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	△94,608	△277,570
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	690,576	△471,266
現金及び現金同等物の期首残高	7,843,173	9,270,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,533,750	8,799,559

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間（自平成22年1月1日至平成22年3月31日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成21年7月1日至平成22年3月31日）

当社及び連結子会社は衣料品製造販売を事業内容としており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

② 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間（自平成22年1月1日至平成22年3月31日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成21年7月1日至平成22年3月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。また、本邦以外の国又は地域に所属する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

③ 海外売上高

前第3四半期連結会計期間（自平成22年1月1日至平成22年3月31日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成21年7月1日至平成22年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年7月1日至平成23年3月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成23年1月1日至平成23年3月31日）

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年11月16日付、平成22年12月17日付で行った自己株式立会外買付取引のほか、単元未満株式の買取りにより自己株式を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が950百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,898百万円となっております。